



平成30年1月9日

新宿区立江戸川小学校

No. 632

夢や目標について語り合う機会を…

皆様には、希望に満ちた新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、保護者や地域の皆様からご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、1月になりました。昔からよく、「1月はいく、2月はにげる、3月はさる」という言い回しで、年が明けると年度末まであっという間に時が過ぎてしまうということを言い表します。「後回し」や「そのうちにやればいい」といった感覚でいると、できないままややり残したまま進級や進学の時期を迎えてしまいます。その学年で身に付けた知識や技能など(各教科の学習内容等)はもちろんですが、基本的な生活習慣や態度(早寝・早起き、朝ごはん、あいさつ、正しい言葉遣い、廊下歩行、忘れ物をしない、整理・整頓、いじめや暴力をしない等)も疎かにしてはいけません。「やり残したことは、3月までにやり遂げるぞ!」と、自分の心に強く言い聞かせながら、貴重な残りの日々を過ごしてほしいと思います。

また、できなかったことややり残したことの克服ばかりでは、なかなかがんばる気力が長続きしません。年が新しくなったこの節目に、「こんなことをしてみたい!」とか「今年こそは!」と、新しい夢を描いたり、目標を立てたりすることで、「やる気」がふつつつと湧いてきます。自分の良いところや好きなこと、頑張りたいことを見付けたり決めたりして、それに向かって突き進んでほしいと思います。

文化やスポーツなどの各界で活躍している人が、子供時代に夢や目標をもっていて、それに向かって努力した…というエピソードがメディアで紹介されることがよくあります。そういう人達は、時にはあきらめたり方向転換をしたりしても、その時々新たな夢や目標を設定してがんばってきました。目標を高くもった子供ほど確かな成長をするものだと思います。

各家庭でも、ぜひ親子で夢や目標について語り合う機会を設けてください。そして、今年、子供達の掲げた夢や目標が達成できる良い年となりますように、全教職員で応援していきたいと思います。

1月の生活目標

すすんであいさつをしよう

1月の生活目標 「すすんであいさつをしよう」について

爽やかな「おはようございます」で始まる一日は気持ちのいいものです。水曜日は、民生、児童委員の方々が校門で、子供たちを迎えてくださっています。返事を返すのではなく自分から先に声を出すことが大事です。子供たちには「自分からすすんで」「明るく元気な声で」と指導しています。あいさつは人間関係の基礎を築く第一歩で、心を育てることが大事です。「ありがとう」「ごめんなさい」「失礼します」「こんにちは」「どういたしまして」たった一言のあいさつで心が通じることがたくさんあります。廊下ですれ違いに「こんにちは!」。お客様にも「こんにちは!」。明るいあいさつが響く学校を目指します。

保健室より

例年1、2月は、かぜインフルエンザの集団発生が多くなります。感染症は、ほとんどウィルスによって引き起こされますが、疲れ、寒さ生活の不摂生などで体の抵抗力が弱っている時にかかりやすいものです。日頃から睡眠を十分にとり規則正しい生活に気を付けて、かぜインフルエンザの時期を乗り越えましょう。

さて、1月18日（木）2時より、本校ランチルームにて学校保健委員会が行われます。心身ともに健康な児童を育てるため、児童の健康実態や様子を、地域・保護者・学校みんなで共通理解をして、何ができるかを考えていきます。学校からは児童の健康・体力・食育給食についての様子を、各学校医の先生方からは、「健康のアドバイス」をそれぞれご専門の内容で話をさせていただきます。

保護者の皆様、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。